



大淀中だより

学校教育目標 「自主・自律の態度と共生の心を育成する」

京都市立大淀中学校

学校だより

令和7年(2025)4月11日

校長 塩見 登

第51回 入学式

4月9日(水)、入学式日和の快晴です。校門前の桜が新入生を歓迎してくれているようです。真新しい、ちょっと大きめの大淀中学校の制服がとてもフレッシュでよく似合っています。緊張した面持ちでリニューアルされた体育館へと入場している姿は、保護者の皆様にとって感慨深いシーンとなったことだと思います。1年生学年主任から一人一人呼名される場面では、元気な声で“はい”と返事をし、力強い返事に中学生になって頑張るという意気込みが伝わってきました。新入生92名を代表しての誓いの言葉は、堂々として見事でした。ここで誓いの言葉を紹介したいと思います。



「淀のシンボル、河津桜には、今年多くの観光客が押し寄せました。河津桜の美しい景色は、暖かい風とともに流れ、大淀中学校の校門の桜へと行き着きました。春の始まりを感じ、新しい制服に身をつつみ、緊張と期待を胸にいだきながら、今日この校門をくぐりました。

本日は私達のために、このようなすばらしい入学式を行ってくださった教職員の方々、先輩方、地域の皆様、本当にありがとうございます。

先日、サッカー日本代表のワールドカップ進出をかけた試合が行われました。対戦国はバーレーン、試合後半、鎌田選手と久保選手が点を決め、2対0で日本は勝利を収めました。インタビューで久保選手は「僕たちの目標はここではない。」と述べました。ワールドカップ優勝のために、ワールドカップ進出という大きな一歩を歩んだ日本代表の姿を見て、自分も目標は高く、でも道のりは一歩一歩着実に歩んでいきたいと思いました。

また、相手国のバーレーン代表の監督は、日本代表のチームワークをほめたたえていましたが、私たちももし困ったときや相談したいことがあるときは友達を頼ったり、周りから頼られるような人になりたいと思いました。

しかし、中学校では、不安になり迷うこと、自分達の力だけでは乗り越えられないこともあると思います。そんな時には教職員の方々、先輩方、地域の皆様、保護者の方々の力を貸してください。時には反抗的な態度をとってしまうこともあるかもしれません。そんな時には温かく、時には厳しいご指導をよろしくお願いします。

私たち新入生は大淀中学生の生徒として誇りを持ち、自分らしく夢に向かって努力し、充実した中学校生活を送ることをここに誓います。」

令和7年 4月9日 京都市立 大淀中学校 新入生代表

ここでは、紹介しませんが、生徒会本部の歓迎の言葉も、先輩らしく堂々としたスピーチで、新入生にとって中学校生活が楽しみになるような内容でした。また、校長式辞では、スピーチの最後に英語で祝辞のサプライズがありました。その内容とスピーチに込めた想いを紹介したいと思います。



"I am really happy to be with you today. Thank you for coming to Oyodo Junior High School. I just want to say one thing. Don't be afraid of being a junior high school student. I am standing by you. Your teachers are also standing by you. Look to the side, people who live in Yodo are also standing by you. And of course, behind you, your parents are also standing by you. That means all of us are standing by you. We all are your supporters. Again don't be afraid of being a junior high school student. Please enjoy your school life. Good Luck!"

“教職員、淀の地域の皆様そして保護者の皆様が、新入生のみなさんを温かく見守っています。中学生になることを心配しないでください。みなさんの周りには、たくさんのサポーターがいます。中学校生活を楽しんでくださいね。健闘を祈ります”短い要約ですがこのような内容になります。

世界から多くの観光客が訪れる京都市、そして河津桜や競馬シーズンの時期を中心に淀の町にも外国からの観光客がたくさん訪れるようになりました。グローバル化がますます進む中、いかにグローバル社会に対応していくかがこれから日本の課題だと感じています。新入生のみなさんには、是非すばらしい淀の町を世界に広めるような人になってほしい。淀から世界へ大きく羽ばたいてほしい。そして世界を知って淀の町に貢献してほしい。そんな意味も込めて英語でのスピーチを披露しました。

令和7年度 就任挨拶



令和7年度より大淀中学校の校長を拝命しました、塩見 登（しおみ のぼる）と申します。令和4年度から約3年間教頭として勤めさせていただきました。昨年度に創立50周年という節目を迎え、50周年記念式典・体育館竣工式を経て、新しい半世紀のスタートに身の引き締まる思いでございます。

赴任以来、本校がいつも保護者や地域の皆様に支えていただいていることを感じ、大変感謝致しております。今年度、この歴史ある大淀中学校で新たなチャレンジをさせていただけることを光栄に思っております。

至らない点も多々あると思いますが、大淀の子どもたちのために、教職員一丸となって教育活動に取り組んでまいります。保護者、地域の皆様には本校への教育活動に対しまして、今年度も変わらぬご理解とご支援を賜りますようよろしくお願い致します。

今年度は、私自身の在外での経験談や校長として校内・校外で感じたことをこの学校だよりでご紹介出来たらと思っております。お楽しみに。

「就学援助」及び「総合育成支援教育就学奨励費」制度のお知らせ

京都市では、お子さんが市立小・中学校へ就学するにあたり、経済的な理由によりお困りの保護者に対し、学用品費や給食費などを援助する就学援助制度を設けています。

なお、市立小学校卒業時に就学援助の認定を受けていた場合、新規の申込は不要です。継続の案内は別途お知らせします。

※ 令和7年度より、多子加算ができる子の年齢が18歳未満から22歳未満に上がります。

昨年度、不認定となった方も加算の要件に該当すれば認定できる場合がありますので、該当する方は学校にお申し出ください。

※ 様々なご事情により家計が急変する等、経済的な理由でお困りの場合は、収入状況の悪化がわかるものをご提出いただくこと等により認定できる場合がある臨時措置を設けています。まずは、学校にご相談ください。

また、育成学級に在籍しているお子さんのご家庭や、普通学級に在籍し、総合支援学校に通う程度の障害があるお子さんのご家庭に対し、学用品費等の一部を補助する総合育成支援教育就学奨励費制度も設けています。

申込みの手続きやご相談・ご質問がある方は学校までお申し出ください。